

## 【平成 29 年 4 月から平成 30 年 3 月に呼吸器内科・総合診療科にて肺炎の治療を受けた患者さん、及びご家族の方へ】

当研究の対象者として該当される方にお知らせ致します。対象とされることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、お手数ですが下記連絡先までご連絡ください。

### 【研究タイトル】

高齢者の肺炎後の離床<sup>\*1</sup>までの期間が日常生活動作能力<sup>\*2</sup>に与える影響について

\*1：離床（りしょう）とは、寝床を離れて起きることです。

\*2：日常生活動作とは、日常生活を送るために必要な動作のことです。

### 【研究背景・目的】

わが国での肺炎による死亡者は、約 95%が 65 歳以上の高齢者であることが知られています。そのため、高齢者の肺炎における社会的関心も高まっています。近年では、肺炎で入院された患者さんも早期のリハビリテーションを開始することによってその後の身体の状態が改善されることが知られています。しかし、これらの報告において身体を起こせる状態までの期間についての一定の見解はなく、入院前後における日常生活動作の低下における研究は少ないのが現状です。今回はその影響と日常生活動作の改善や低下の関係性をみることを目的としています。

### 【研究期間・取得情報】

- ・研究期間は、倫理委員会承認後から平成 32 年 3 月 31 日です。
- ・対象：平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までに呼吸器内科もしくは総合診療科にて肺炎の治療を受けた患者さん
- ・取得情報：年齢、BMI、認知機能、食事摂取量、並存疾患の有無、血液データとして Alb、TP、BUN、コリンエステラーゼ、CRP、人工呼吸器装着の期間、レントゲンが一般撮影に変わるまでの期間、点滴での抗生剤の投与期間、絶食期間、リハビリ介入の有無、リハビリ開始までの期間、離床開始までの期間、端座位までの期間、歩行開始までの期間、一日当たりの単位数の平均値。3 ヶ月以内の再入院の有無、入院前後の日常生活動作能力。

## 【個人情報の取扱い】

研究の際の個人情報の取り扱いは、研究責任者により厳重に管理され、外部への研究発表の際には患者さん個人を特定する情報は含まないようにして行います。

研究の対象となることを望まない旨の申し出があった場合には、ただちに研究対象から除外します。なお、匿名化（データの識別のために個人を特定できる情報を番号・記号等に置き換えること）を行った後の患者さんの情報については、研究から除外できない場合もありますのでご了承下さい。

## 【診療記録(カルテ)等の開示について】

当院は、研究に使用しました患者さんの診療記録等について、患者さんが開示を求められた場合には、遅滞なく内容を確認し、当院の「患者情報の提供等に関する指針」に従って対応いたします。当院の診療記録等に関してのご質問や患者さんの個人情報のお問い合わせは、下記、「問い合わせ先」にてお受けいたします。

- ・ 診療記録を複写・印刷する場合の料金：枚数×20 円＋消費税

## 【研究組織】

研究責任者：飯塚病院 リハビリテーション部 技師長 井本 俊之

## 【問い合わせ先】

飯塚病院 リハビリテーション部 奥野 将太

〒820-8505 福岡県飯塚市芳雄町 3-83

TEL：0948-22-3800（代表）